



国連UNHCR協会 教育プログラム

国連UNHCR協会では、「出張授業(出前授業)」や「学習訪問」のご依頼を承っております。

難民のことをより身近に自分事として捉え、アクティブラーニング等さらなる学習につなげていただくために、ぜひご活用ください。

また、すでにこれらをきっかけにさらなる学びを深められた実践例やご活用いただけるツールもございます。

出張授業

学校の授業や全校行事などに講師を派遣しています。

教科指導や「総合的な学習の時間」の一環として、また文化祭の発表のための事前学習や全校集会、大学の授業やゼミで、難民を取り巻く問題やUNHCRの活動、国際協力などをテーマに講演ができます。



当協会開発の『いのちの持ち物けんさ』『あるものないものワークショップ』などのワークショップ(裏面参照)を用いて行うことも可能です。

また、ご要望により学生団体SOARのメンバーと連携することにより、より深い学習効果を創り出します。

時間 : 随時ご相談させていただきます。

費用 : 原則として、主催者の方に旅費・交通費のご負担をお願いしています。

※当協会は謝礼金を受け取ることが出来ませんので、ご寄付をご検討いただけますと幸いです。

※学校での規定との調整や遠方で交通費負担が難しい場合などございましたらご相談ください。



学生団体SOAR

国連UNHCR協会と連携し、大学生のメンバーが『いのちの持ち物けんさ』などのワークショップを中心に難民問題についての出張授業を行っています。

同じ学生だからこそ伝えられる言葉で、児童・生徒のみなさんがこれからの社会を考えるきっかけをつくっていきます。

公式Webサイト : <http://soar4rejugees.wixsite.com>

学習訪問

当協会にご来訪いただき、これまでに難民やUNHCRについて学習したことについて発言していただきながら、講師が質問に答えるなど、さらなる学びを深めていく時間を一緒につくっていきます。

おいでいただく人数は原則4～20名で承ります。20名を超える場合は別途ご相談ください。

時間 : 原則60分で承っておりますが、随時ご相談させていただきます。

費用 : 特に不要です。

※児童・生徒のみなさんによる自主的な募金活動を通してのご寄付をご検討いただけますと幸いです。

ワークショップと学習用ツール

みなさんの教育活動にご活用いただける2つのワークショップをご用意しております。
難民について自分事として捉え、国際理解についての学習を深めていくうえでご利用いただけます。
これらをもとに数々の実践例が生まれており、生徒のみなさん自身がアクティブラーニングとしてワークショップを実施することもできます。
ワークショップの詳細は、当協会発行の『難民についての授業の手引き』に掲載しております。
そのほかにも学習にご活用いただける資料やツールがございますので、詳しくは、
『難民についての授業の広場』(<http://www.japanforunhcr.org/archives/forteachers>)をご覧ください。

『いのちの持ち物けんさ』

【喪失の疑似体験】を通じて生まれる【自分への気づき】を元にして、難民の人たちの心の痛みに寄り添うために「自分にできることは何か」を考えるきっかけをつくること、難民について知ってもらうことを目的としたワークショップ。付箋とワークシートを使用したグループワークで、中高生以上推奨。幅広い気づきを生むことができます。

『あるものないものワークショップ』

難民の人々の現状に関する写真から、【難民にないもの】【難民にはあって私たちにないもの】【難民にも私たちにもあるもの】について考え、自分たちや日本の社会が、現在そして未来においてできることを導き出していくワークショップ。小学校高学年から中学生推奨。課題への出会いを創出できます。

難民アスリートについて



2016年のリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおいて、歴史上初の難民選手団が結成されました。彼らは逆境に負けない強さを発揮し、世界中の人々に勇気を届けました。

2020年に日本で開催されるオリンピック・パラリンピックにおいても難民選手団が結成されることが決定しました。この平和の祭典を機に、難民問題について学びを深め、私たちにできることを考えてみませんか。

詳細:「2016年リオ五輪に出場する10人の難民選手団」
(<https://www.japanforunhcr.org/archives/9293>)

「リオパラリンピックで、避難しているアスリートが歴史的なデビューを飾る」
(<https://www.japanforunhcr.org/archives/9876>)

ご質問・ご依頼 は、下記の当協会ウェブサイトをご参照のうえ、Eメールにてお問い合わせください。

<http://www.japanforunhcr.org/archives/forteachers> (『難民についての授業の広場』)

<http://www.japanforunhcr.org/archives/lectures> (『出張授業/学習訪問』)

Email : school@japanforunhcr.org (学校担当:天沼)

TEL:03-4366-7373 FAX:03-3499-2273 〒107-0062 東京都港区南青山6-10-11 ウェスレーセンター3F

国連UNHCR協会は、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)の公式支援窓口です